

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第2回児童の放課後対策審議会
開 催 日 時	令和6年7月23日（火） 午後1時～
開 催 場 所	枚方市役所 別館4階 第3委員会室
出 席 者	会 長：大西 雅裕 副会長：後閑 容子 委 員：青島 弘、伊勢 正子、植田 暁美、妹尾 忍、 代田 盛一郎、中口 武、大和 美穂
欠 席 者	委員：蔦田 夏、牧野 好秀
案 件 名	1. 児童への意見聴取に関する意見交換について 2. 議事 児童の放課後に関するアンケートの単純集計（児童、保護者、就学前児童の保護者）に係る施策への反映について 3. 報告 ①職員による子どもへの意見聴取 ②夏休みにおける昼食サービスの試行実施
提出された資料等の名	資料1 【集計結果】児童の放課後に関するアンケート（児童）（単純集計） 資料2 【集計結果】児童の放課後に関するアンケート（児童の保護者）（単純集計） 資料3 【集計結果】児童の放課後に関するアンケート（就学前児童の保護者）（単純集計） 資料4 職員による子どもへの意見聴取について 資料5 夏休みにおける昼食サービスの試行実施について 資料6 今後のスケジュール
決 定 事 項	・会議前に行った、児童の意見聴取に関して意見交換を行った。 ・児童の放課後に関するアンケートの単純集計について、事務局から説明を行い、クロス集計の方向性について、委員のご意見を頂いた。 ・職員による子どもへの意見聴取及び夏休みにおける昼食サービスの試行実施について、事務局から説明を行った。 ・今後のスケジュールについて、委員の了承を得た。

会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別 及び非公表の理由	公開
傍聴者の数	1
所管部署 (事務局)	教育委員会 学校教育部 放課後子ども課

審 議 内 容

【会長】

定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第2回児童の放課後対策審議会を開催いたします。

午前中は皆さん、暑い中児童の意見聴取に取り組んでいただきまして誠にありがとうございました。子どもたちから聞き取った意見等につきましては、本審議会の中で意見交換をしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

では、事務局より委員の変更を聞いておりますので、報告をお願いいたします。

【事務局】

本委員の体制につきまして、変更を御報告いたします。社会教育の分野から、選出いただいております委員につきまして、前任の栗村由美子委員が辞任されましたので、青島弘氏を新たに委嘱させていただいております。

青島委員、一言御挨拶をお願いします。

【委員】

こんにちは。青島です。枚方市PTA協議会で子育て応援委員会というものがあり、委員長をさせてもらっています。また、PTAの会長を小学校は2年、中学校は3年やっています、子どもたちのために何かできないかということで、枚方市PTA協議会に在籍させていただいています。よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。

委員の変更の報告は、以上になります。

【会長】

ありがとうございます。

それでは次に、事務局より委員の出席状況の報告をお願いいたします。

【事務局】

本日の出席状況ですが、委員 11 人のうち、出席委員 9 名となっており、枚方市附属機関条例第 5 条第 2 項により、会議が成立していることを報告させていただきます。

【会長】

ありがとうございます。

それでは、報告のとおり、定足数に達しているために会議を始めます。

会議の前に、傍聴者への資料の配付について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

枚方市審議会等の会議の公開等に関する規定第 3 条に基づきまして、本会議は公開となっております。審議会の配付資料につきましては、傍聴者の閲覧に供するか、配付するよう努めることになっておりますが、資料の取扱いに関しまして、傍聴者に配付するということによろしいでしょうか。会長から御確認を取っていただきますようよろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありましたが、本日の資料の取扱いは、傍聴者に配付するということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【会長】

ありがとうございます。

それでは、配付することで決定します。事務局、よろしくお願いします。

(資料の配布)

【事務局】

ありがとうございました。

【会長】

それでは次に、本日の資料の確認を事務局よりお願いします。

【事務局】

本日の資料ですが、次第に続きまして、

資料 1 【集計結果】児童の放課後に関するアンケート（児童）（単純集計）

資料2【集計結果】児童の放課後に関するアンケート（児童の保護者）（単純集計）

資料3【集計結果】児童の放課後に関するアンケート（就学前児童の保護者）（単純集計）

資料4 職員による子どもへの意見聴取について

資料5 夏休みにおける昼食サービスの試行実施について

資料6 今後のスケジュール

となっております。過不足等はありませんか。

【会長】

よろしいでしょうか。

それでは次第に従いまして、本日の児童へ聞き取っていただいた意見について意見交換をしたいと思います。どなたからでも結構ですので、何かありましたらよろしくお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

まず、樟葉小の留守家庭児童会に行かせていただきまして、A、B、Cの3つの部屋があり、A、Bがパーテーションで分割できますが、パーテーションを開けた状態でした。満員でしたので、ずっと雑然としており児童が「先生」と呼ぶのですが、多分聞こえていないような状況でした。ほとんどの児童たちは、自分たちの好きな遊びをしていました。まず、6年生の2人の児童が声をかけてくれて、「宿題が多い」と言っていました。その後、4年生の女の子3人が遊んでいるところに参加して、遊びながらいろいろな話を聞かせていただきました。楽しいこと、自由に遊べるのがすごくいいなということが、言葉の端々から伝わってきました。「友達ができる」とはっきりと言っており、その友達も同学年の仲よしだけでなく、違う学年の子ども遊ぶとのことでした。また、おもちゃや本は増やしてほしいという意見がありました。お誕生日会も取り組んでおり楽しい様子でした。次に、宿題をやっていた児童に声をかけさせていただきました。学年が上がっていくにつれて皆辞めていくけれども、自分は親の都合で通っているとのことでした。「高学年が少なくなってきた、塾や習い事で過ごす時間帯が少ないけどどうかな。」と聞いたら、高学年は少ないけれど、一緒に仲よくやっていると答えてくれました。

オープンスクエアで印象に残ったのは、もともと児童会に通っていたけど、オープンスクエアが始まってから、移動してきたという児童でした。「どうしたかったの」と聞くと、「児童会は辞めたくはなかった」と教えてくれました。本人は辞めたかったわけじゃないけど、お金が理由と言っており、経済的な理由でオープンスクエアに移動した児童ということがわかりました。次に、塗り絵で遊んでいた児童とお話をしました。いろいろと楽しそうに遊んでいましたが、おやつがないので食べたいということは何回か言っていましたので、オープンスクエアに通っている児童の中には一定あるのかなと思いました。

2つの事業の交流というのは、特に夏場ということもあり、ほとんどないのだろうなと思いつつ、今日は一部分だけを切り取りましたので、内容的にオープンスクエアと児童会の中身は事業趣旨や、事業内容が違っているとか、目的が違うというところまでは拝見できませんでしたので、その点については今後も注意して見ていきたいなと思っております。

以上です。

【会長】

ありがとうございます。

ほか、どうでしょう。

【委員】

樟葉小学校に行かせてもらいました。留守家庭児童会はすごいにぎわいで、児童はそれぞれ自分のしたいことを見つけてすごく活発に遊んでいたのですが、間近で話をしても声が聞き取れないぐらいのにぎわいでした。誰かが叫んでいるとか、そういうわけではないのですが、1部屋にいる人数がとて多くて、それぞれに和気あいあいと話しながら遊んでいるので、にぎやかな空間ではありました。中には静かなところで過ごしたい児童もいるだろうとか、そういう環境が苦手な児童は、いつもどうしているのかなというのは感じました。好きなことや得意なことを見せてくれたり、ここで遊ぶのが楽しいということを口々に言っていました。中には作って遊ぶのが好きだったり、工作みたいなことが好きだけどここではそれはできないということを言っている児童もいたので、やりたいことを叶えられるといいなと聞いていて感じました。

あと、放課後オープンスクエアは家庭科室を利用していましたが、低学年の児童は机と椅子の高さ的に長時間過ごすのはしんどいかなというのを感じました。勉強をしたり何か字を書いたりするには適切な環境ではなく、もう少し何か工夫ができたらと感じました。他には、去年までは児童会にいたけど、今年からこっちに来たという児童は、やはり金銭的な理由ということ話をしていました。どっちがよかったか聞くと、オープンスクエアのほうが自由に自分の過ごし方を決められるからこっちのほうが良いと言っている子が何人かいました。ただ、おやつがないことは残念そうに話をしていました。

普段クラスで過ごしている友達とは違う友達と過ごす楽しさもあり、そういう異年齢の関わりというのはいいなと思いました。また、先生もすごく温かく子どもたちに関わっておられる姿が見られ、1つのところにおられても全体の様子も見配りされている様子が見られたので、子どもたちはすごく温かく見守られた中で過ごせているんだなというのを感じました。

【会長】

ありがとうございます。

私も樟葉小学校だったのですが、最初に留守家庭児童会を見ていたのですが、やはり騒然としていました。異年齢の児童が何人かでトランプで遊んでいて、その横で絵本作りみたいなことをやっていたので、いいなと思い見ていました。留守家庭児童会はあまり勉強している子はいなかったです。あと、もう少し配慮の必要な児童に対しての関わりはあってもいいのではないかなと思いました。オープンスクエアのほうが宿題をやっている児童がとて多かったです。他には、「今日は暑いから、外に行けないかな。」というようなことを聞くと、虫取りで少し外に出たというような話はしていたので、涼しいときには外へ行って遊

ぶんだろうなというのが分かりました。ただ、オープンスクエアとの交流という点では、距離があり交流は難しいかなと思います。主体的な子どもたちの遊びの場が別々になってしまっているという感じを受けました。

【事務局】

今、御意見をいただいたところで、お答えできるものをお話させていただきます。オープンスクエアと留守家庭児童会室の関わりについて、夏は昨年外に出られる時間が朝8時から9時の時間ぐらいしかなく、それ以上はWBG Tが上がってしまい外に出られないことが多いです。今日、虫取りをしたときは、オープンスクエアも一緒に外に出てきて交流していると聞いています。あと、水遊びの時も、オープンスクエアとも一緒にやりたいという話をしていたので、交流を持つということに意識はしてもらっているのかなと思っています。

【会長】

ありがとうございます。

それでは次に、船橋小学校について、どなたからでも結構ですので、よろしくお願いいたします。

【委員】

児童会とオープンスクエアの子どもが一緒に遊ぶというのはなかなか難しいようでした。暑いということもあり、外に出たときに交流を持つぐらいで、交流を持つために何かをするということはされていないようでした。

まず、児童会で話しを聞きました。児童会では8月23日に児童会のお祭りをするということで、今日はそれに向けて準備をしているところでした。また、おもちゃをもっと増やしてほしいという意見がありました。あと、遊びのことで、折り紙が1人1日3枚までしか使えないと言っていました。

少し気になったのが、以前は、児童会ではお昼寝的な時間があったのですが、今はやっておらず、しんどいなと思って寝ころぶと先生に注意されると言っていました。しんどいときなどは、少し寝ころばせてあげてほしいと思います。オープンスクエアでは自由にできるから楽しいという意見を聞けました。

委託事業者にも意見を聞きました。直営からの移行はスムーズに行えたとのことでした。また、暑い時期の外遊びとして、1度学校の体育館を使われたとのことでした。いきいき広場は、土曜日の午前中は優先して体育館やグラウンドを使えるようになっているので、連携を取っていききたいと思います。

【会長】

ありがとうございます。

【委員】

私も船橋小学校でした。児童会のお部屋は快適で過ごしやすかったなので、この環境なら熱中症は大丈夫と思いました。外に出ると、汗を流して遊んでいた児童がいたので話を聞きました。外で遊びたいようでしたが、部屋を出た屋根の下までで、運動場には行けない状況でした。

オープンスクエアでは宿題をやっている児童が多くいました。宿題を早く終わらせようと頑張っている様子でした。話を聞くと、ここに来るのが楽しいと言っていました。ただ、オープンスクエアのほうが、部屋が暑く心配でした。オープンスクエアは、寝転がっている児童に対してスタッフが注意する場面があり気になりましたが、目は行き届いているのかなとは思いました。

【会長】

ありがとうございます。

【委員】

私も同じく船橋小学校に行きましたが、施設のきれいさにびっくりしたのと、体調が悪くなった児童のために静養室もあるとおっしゃっていました。高学年が少ないということで、高学年に話を聞いてみました。「楽しいし今が充実している。今のままでも全然いい。」という回答をもらいました。また、オープンスクエアより児童会のほうが賑わっていて楽しそうだと感じました。

【会長】

ありがとうございます。

【委員】

オープンスクエアの場所が悪いと思います。もともと倉庫的な扱いをしていた部屋を活用しています。あと、学校のトイレが使えない。学校のトイレは、大雨や台風の時しか使えないと児童は言っていました。「普段はどこを使っているの。」と聞くと、児童会と言われました。雨の日は傘をさしてトイレに行くという話をしていたので、何とかならないだろうかと思います。これは変えてほしいなと思いました。

【事務局】

その件について、去年学校とお話をさせていただき、使えるようになったと聞いていたのですが、早急に確認します。

【委員】

学校長が今年代り、何も聞いておられないかもしれませんので、相談してください。

【事務局】

はい。

【会長】

では、よろしくお願いします。

では次、西牧野小学校、どうぞよろしくお願いします。

【副会長】

最初にオープンスクエアに行きました。子供たちは大変伸び伸びと元気に遊んでいました。4年生の女の子3人組が出迎えてくれました。途中から3年生の子も加わり話を聞いたのですが、隣の子の話が聞こえないぐらいに、にぎやかでした。皆、おもちゃで遊べたり話ができたりと友達との時間が持てるということはオープンスクエアに来る楽しみだということでした。

嫌なところはと聞くと、狭いことと、それからうるさいことがありました。机の斜め向こうでは一生懸命勉強をしている子たちが座っており、おもちゃが飛んできたりするようです。

欲しい物は、ゲームやテレビが欲しいとは言うけれどもそれ程欲しいでもなく、もっと友達と一緒に遊べるようなものが欲しいという事です。女の子たちからも、1つしかないおもちゃで何かが無くなると使えなくなるのでおままごとセットやカードゲーム等複数組欲しいということでした。

オープンスクエアではおやつがないのが寂しいそうです。4年生で、お金のことについても理解しており、おやつが欲しいけれども、お金のことが出てくると難しいというのが子どもの中でも分かっている様子でした。

設備のところでは、もとは児童会室だった建物だそうで決して新しい建物ではないのですが、洋式トイレで男女別になっており不満はないようでしたが、虫が多い事を嫌がっていました。

楽しみな事は、オープンスクエアの子たちは毎日お母さんが作ってくれるお弁当が楽しみの1つだと言っていました。

環境的には、静かに勉強している子たちがいるすぐ隣でいろいろな声を出しながら遊んでいる子がいて、狭さの問題はあるのかなと思いましたが、オープンスクエアに来る目的の1つに涼しいから来るという子もあり、その点では古いながらも環境としては整っていて、狭さをもう少し何とか解決してあげるとより過ごしやすいのではと思いました。オープンスクエアでは、全体的に子どもたちが伸び伸びと遊んでおり、1人でポツンと、という子がいませんでした。

留守家庭に関しましては、男の子、主に2年生が話してくれました。漫画をたくさん読んだり、勉強をしたりお弁当を食べたり、来るのが楽しみなんだと言っていました。

学校は好きじゃないけど、児童会は好きという子がおり、詳細は聞けませんでした。来る場所があるということはすごくいいことなのではないかなと思いました。

【会長】

ありがとうございます。

ほか、どうでしょう。

【委員】

私が聞いたのは1年の女の子・3年の男の子で特に「朝御飯は食べてきたのか。」と聞くと、ほとんどの子が食べたと答えていました。「お弁当はどんなのが好き。」と聞くと、いろいろと料理が出ますが、やはりお母さんが作ってくれたお弁当が一番好きというのが多かったです。「コンビニは嫌。」という子も多かったと思います。

「家に帰ったら何をしているの。」と聞くと、「お兄ちゃんがいるから、2人でお留守番をしている。」との回答でした。

トイレの話では男女別で洋式の為か、女の子は「トイレはきれい」で、男の子は「トイレは汚いよ。」と、意見が違いました。

上靴を履くことはどうですかという質問には、カーペットを敷いていますので、素足の方が気持ちいいという子が多いです。

朝とか帰りについては、朝は友達と来ているという子がほとんどでした。

男の子からは、「公園の中でサッカーができるところを造ってほしい」とか、「先生が決めたルールがいろいろある」と意見が出ていました。

楽しいことは、女の子も男の子も外遊びが楽しい。嫌なことは、女の子は宿題が多過ぎて嫌。男の子は別に嫌いなことはありませんということでした。児童会室の友達や先生について聞くと、みんないっぱい好きな人や友達がいて、先生にはしゃべりたくないこともあるが、先生が注意してくれたことはうれしい、ということをしていました。

【会長】

ありがとうございます。

どうぞ。

【委員】

私は児童会室のB班を中心に、A班もオープンスクエアも少しのぞかせてもらいましたが、Bはすごく賑やかで横で話していても聞き取れない程でしたが、Aは結構静かでした。班の児童数は均等に半分に分けているらしいですけど、AとBで違ったというのが印象に残りました。オープンスクエアは30人程度で、児童会室の部屋より小さい感じでしたが、少しぎゅうぎゅう詰めみたいなイメージでした。Bで3人ほど話を聞いたのですが、1人3年生の男の子で、あまり児童会が楽しくないという意見でした。1人で折り紙を折っていたので、最初に声をかけ、寂しそうな気がしたので行っただけですが、何故かと聞くと、「けんかをよくする、殴られる」と言っていて、そのときは何もなかったのですが、ただ3年生のお友達は結構いるみたいで、その子たちとは少し遊ぶようです。その子はあまりしゃべってくれなかったのが、児童会室が終わって家に帰ってからどうしているか聞くと、弟と一緒にいる様で、家に帰ってから外に行くなと言われていたというのが気になった点です。

あと、3年生の女の子と男の子に話を聞きました。男の子のほうは「どんな遊びをしているの。」と聞いたら、戦争ごっこをしていると言ひ、遊びで作った手裏剣を投げ合ったりしていると言うのですが、僕が子どものときと今も変わっていないのかなと思ったりしました。「部屋で何をしているの。」と言ったら、「歌が好きやから歌を歌っている。」とかすごく自由にしている感じでした。その子にも「家に帰ってどうするの。」と聞くと、「家に帰るといふかそのまま塾に行ったり、スイミングに行ったり習い事にそのまま行ったりする。」という事でした。

あと女の子1人に話を聞けたのですが、留守家庭はすごく楽しいと言っており、オープンスクエアと両方行っているようですが、オープンスクエアに行くとちょっと悪口を言う人がいるから、オープンスクエアはあまり居たくないと言っていました。また、タブレットは持ってきたら駄目になっているらしく、タブレットの宿題は帰ってからすると言っていました。

オープンスクエアで少しだけ1人6年生の男の子に話を聞かせてもらったのですが、楽しいけど、やはり外遊びをしたいということで、暑くて外に行けないのがちょっと残念だと言っていました。

以上です。

【会長】

ありがとうございます。

最後に言い忘れたなというようなことがありましたらと思いますが、いかがでしょう。

よろしいですか。

それでは、御意見はないようですので、意見交換というところはこれで終了ということにさせていただきます。

【事務局】

ありがとうございました。

会議終了時に御記入をいただきました用紙は回収させていただきますので、お席の上に置いていただけたらと思います。

また、本日いただいた御意見等につきましては、内容の集計や精査をいたしまして、後日送付させていただこうと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【会長】

それでは次に、児童の放課後に関するアンケートの単純集計（児童、保護者、就学前児童の保護者）に係る施策への反映について、事務局に説明を求めたいと思います。

【事務局】

御説明いたします。令和6年6月11日から6月30日にかけて実施しました児童の放課後に関するアンケートについて、速報値として単純集計をまとめましたので、御報告いたします。まだ全てをグラフ化することはできていないですけれども、今後クロス集計も併

せて分析しまして、具体的に施策にどう反映するか検討する目安としてまいります。また子ども計画策定のために大阪府と枚方市で共同実施した「子どもの生活に関する実態調査」や、子ども未来部で実施した「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」についても併せて分析を行ってまいります。

資料1を御覧ください。調査対象は枚方市在住の小学生1万9,543人に対し、回答者数3,778人となりますので、回答率は19.3%となっております。標本数と母集団から許容誤差を導き出したところ、許容誤差は1%となり、国が行う抽出方式の調査では許容誤差3%とされておりますので、この回答は信頼できるものであると言えます。

Q1の学校ごとの集計については、学校の周知の協力状況や、児童への声かけのタイミングによって差が出たと考えておりますが、回答数の少ない学校においては職員による児童の意見の聞き取りの中でカバーしていきたいと考えております。

少し飛びまして、3ページ御覧ください。Q5からQ7-4については、放課後オープンスクエアに関する問いとなっております。放課後オープンスクエアに行ったことがない理由や、行っている方には満足度を尋ねたところ、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と肯定的な回答が89.8%となっております。

また少し飛びまして6ページ御覧ください。Q7-4、オープンスクエアでしたいことについては、「友達と遊ぶ」、「おやつを食べる」が多くなっております。その他の意見に関してはグラフの下に四角括弧で記載しております。

次のページ、7ページ、Q8からQ10-3については、ひらかた子どもいきいき広場に関する問いとなっております。Q10-1 ひらかた子どもいきいき広場の満足度は肯定的な回答が94.1%と高くなっております。

8ページを御覧ください。Q10-3、いきいき広場でしたいことについては、「工作・実験」が最も多くなっております。

9ページ、Q11からQ13-6については、留守家庭児童会室に関する質問になっております。留守家庭児童会室の満足度については、肯定的な回答が90.5%と高い数値となっております。

10ページを御覧ください。Q13-2、児童会室のよいところについては、「友達と遊べる」が最も多くなっております。

11ページ、Q13-3、児童会室の悪いところでは、「特にない」が最も多く、次いで「嫌な人がいる」、「トイレが汚い」、「宿題や勉強しないといけない」が多くなっております。Q13-4、児童会室の先生に気持ちを言えるか、Q13-5、児童会室の友達に気持ちを言えるかについては、「大人より友達に言える」ほうが傾向として多くなっております。

13ページを御覧ください。Q14、15については、やってみたい体験やイベントに関する問いとなっております。やってみたい体験やイベントは「水遊び、虫取り、生き物探し」などの外遊びが最も高くなっております。

次のページ、Q15、参加できる時期については、「夏休みなどの長期休業日」が最も高くなっております。

児童のアンケートについては以上となります。

資料2 【集計結果】児童の放課後に関するアンケート（児童の保護者）（単純集計）を

御覧ください。調査対象、枚方市在住の小学生 1 万 9,543 人の保護者に対し、回答者数 5,347 人となりますので、回答率は 27.3%、標本数と母集団から許容誤差を導き出したところ、許容誤差を 1%となっておりま。

質問 1 から質問 8 までは、児童と家族の状況についての問いとなっております。質問 1、家族の状況については、核家族が 89.1%となっており、子ども未来部で実施した「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」の結果と同様の結果となっております。

3 ページを御覧ください。質問 3-1、お母さんの仕事の状況については、「フルタイム」が 40.5%と最も高く、「パート・アルバイト」が同様に 40%と高くなっております。フルタイムが一番多くなっているのは、児童会室の保護者の回答が多くなっている影響が考えられますが、「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」とも大きな差は出ておりません。

質問 3-3、お母さんが朝家を出る時間については、午前 8 時台が最も多くなっております。4 ページ目、質問 3-4、お母さんが家に帰る時間については、午後 5 時より前が最も多くなっております。

少し飛びまして、7 ページを御覧ください。質問 6、世帯の経済状況について年収の問いですが、500 万円以上 800 万円未満が最も多く、次いで 800 万円以上となっております。

8 ページを御覧ください。質問 9、お子さんが小学校に上がるときの状況については、いわゆる小 1 の壁に対する設問となっております。不安や困り事としては、「友達と仲よくできるか」が最も多くなっております。

次のページ、9 ページを御覧ください。質問 10 から 12-5 までは、放課後オープンスクエアについての質問となっております。10 ページ目、質問 12-2、放課後オープンスクエアの満足度については、「普通」を含めた肯定的な回答が 93.1%となっております。12 ページを御覧ください。質問 12 の 5、オープンスクエア事業の向上として求めることでは、「施設の利用の充実」、「三季休業期の昼食サービス」が特に多くなっております。質問 13 から質問 15-2 まではひらかた子どもいきいき広場に関する問いとなっております。13 ページ、質問 15-1、利用してよかったことについては、「いろいろな体験活動ができる」が最も多くなっております。

14 ページ、質問 15-2、ひらかた子どもいきいき広場にどのような活動内容を期待するかについては、「スポーツ活動」が最も多くなっております。

質問 16 から質問 18-8 までは留守家庭児童会室に関する件となっております。15 ページを御覧ください。質問 18-1、利用の満足度については肯定的な回答が 94.8%となっております。16 ページ、質問 18-2 から 18-6 までは、留守家庭児童会室の施設、設備、スタッフの対応、行事、安全管理、おやつの項目ごとの満足度となっております。18 ページを御覧ください。質問 18-7、児童会室の利用で重視していることについては、「スタッフの子どもへの対応・雰囲気」が最も多くなっております。質問 18-8、児童会室の向上として求めることでは、「三季休業期の昼食サービス」が最も多くなっております。

19 ページを御覧ください。質問 20、放課後の取組の中で必要と思うものについては、「安心して預けられる保育環境」が最も多く、次いで「友達との交流」となっております。質問 21 については、体験活動に関する問いとなっております。記載のとおり、児童へのアンケートと同じような内容が上位に上がっております。

児童の保護者のアンケートについては以上となります。

資料3【集計結果】児童の放課後に関するアンケート（就学前児童の保護者）（単純集計）を御覧ください。調査対象は枚方市在住の3歳から5歳の就学前児童 8,446 人に対し、回答者数 1,875 人となりますので、回答率は 22.1%、標本数と母集団から許容誤差を導き出したところ、誤差は2%となっております。

質問1から8までは、児童と家族の状況についての問いとなっております。質問1、家族の状況については、核家族が 92.2 となっております、児童の保護者のアンケート結果と同様の結果となっております。

3 ページを御覧ください。質問3-1、お母さんの仕事の状況については、「フルタイム」が 41.6%、次いで「パート・アルバイト」が 27.8%となっております。パートタイムに比べてフルタイムが多くなっておりますが、「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」との傾向に大きな差はございません。

7 ページを御覧ください。質問6、世帯の経済状況ですが、小学生の児童の保護者のアンケートの回答より若干所得が低くなっておりますが、傾向としては同じとなっております。今後クロス集計を行っていく中で、所得に応じたニーズの違いについても分析を行ってまいります。

8 ページを御覧ください。質問9、質問11については、小学校の入学に向けて不安や困り事に関する問いとなっております。質問9では、「友達と仲よくできるか」が最も多くなっております。9 ページ目、質問10では、不満や不安や困り事を解消するために考えていることとして、「留守家庭児童会室等の預かり保育施設を利用」が最も多くなっております。

10 ページ目を御覧ください。質問11から質問12までは、低学年と高学年の放課後の居場所としてどのような場所で過ごさせたいかについての問いですが、低学年は「児童会室」が最も多く、高学年は「自宅」が最も多くなっております。

11 ページで質問13、放課後オープンスクエア事業の向上として求めることについては、「施設の利用の充実」が最も多く、次いで「三季休業期の昼食サービス」となっております。

12 ページを御覧ください。お子さんの放課後の取組の中で必要と思うものについては、「安心して預けられる保育環境」が最も多くなっております。

就学前児童の保護者にアンケートについては以上となっております。

今回、単純集計となりますが、第1回の審議会でお示ししました計画の骨子案に掲げた具体的対策・目標等に、今回のアンケートで出た意見やニーズの高かったものを反映していきたいと考えております。例えば、具体的対策・目標等の1つとして掲げた、総合型放課後事業の連携、校内交流の推進に係る方策については、アンケートでは留守家庭児童会室に通っている児童がオープンスクエアに行っている児童となかなか遊べていないといったお声や、静かに勉強したい、図書室を使いたい、遊ぶ場所が限定されているとの声がありましたので、留守家庭児童会室と放課後オープンスクエア両事業間の連携のルールをつくり、もっと遊びやすくするだとか、学校施設の利用を充実させていくといったことを計画に反映していきたいと考えております。特に今回のアンケートで要望が多かったこととしては、事業間の連携のルールづくり、学校施設の利用の充実、三季休業期の昼食サービス、児童の主体性

を尊重した事業の実施となっておりますので、これらについては、計画に反映していく必要があると考えております。今後クロス集計による分析や、現在取り組んでいる事業の課題の検証を行い、より実効性のある計画にしていきたいと考えております。

説明は以上となります。

【会長】

ありがとうございます。ただいまアンケートについての説明がありましたけれども、何か御意見とか御質問はございますでしょうか。また単純集計ですので、これをクロスしていくということになりますけれども、何かこういう項目のクロス集計があったらいいんじゃないかという御意見があればお願いをしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

クロス集計の1つ有効になる情報の抽出として、所得と留守家庭児童会の参加を希望する、もしくは行かせ続けるという関係がどのように出てくるのか、例えばおやつ代や、オープンスクエアに移行した子どもたちの今日の聞き取りの中からも、やはり世帯の経済状況というのが一定子供の居場所の規定要因になっているのではないかという1つの仮説が立ちます。が、例えば世帯の経済状況で留守家庭児童会室の保育料が減免になるなら外れてくるでしょうし、どの辺りの世帯の経済状況の層が通わすのを控えるのか、そのあたりが出ればと思いました。

以上です。

【会長】

ありがとうございます。所得を中心にして児童会室やオープンスクエアの関係を見てみるという1つの視点ですね、ありがとうございます。

ほか、どうでしょうか。

単純集計の表を見て学校の回答率のばらつきが気になるのですが、多く出しているところもあり、逆に非常に低いところもありますね。

大和委員、始まる前におっしゃっていたことを発言していただきたらと思うのですが。

【委員】

アンケートをする前に紙の見本を拝見していましたが、正直に項目も多いし長いなと思っていましたが、実際はウェブだったので紙で見たよりすごくスムーズで、もう終わりなのかなという感覚でした。情報量が同じなのにすごく簡易的に終わるなというふうに感じました。

【会長】

今回そういう利点が一方であったということです。もっと低いかと思っていたので、その点、結構答えてくれていると思うのですが、いかがでしょうか。

【委員】

私は保護者なので、学校から回答してくださいと多分2、3回来ているのです。どこの学校とは言わないですが、お子さんのタブレットでやってくださいと来ていたのですが、こんなに少ないというのは逆に意外な感じです。

【委員】

こちらはタブレットじゃなく、自分の携帯でQRコードを読み込むタイプでした。学校によって違うのかもしれないですね。

【委員】

意外にも回答率が低いのは、保護者の意識的なところが足りていないのかなと思いました。

【事務局】

このアンケートのばらつきにつきましては、私たちも気になるところですが、計画を策定する、全体を考える上での許容誤差としては信頼できるものであると思っております。しかし、満足度など、学校ごとで見るべき回答というところでは、やはり足りないと思っております。昨年度もモニタリングを行い、学校ごとに施設を見て、満足度等も調査するのですが、この点は別で調査しなければいけないと思っています。

ただ、今回20日間ほどの期間でアンケートをとらせていただいた中でのこの数値は、全体としての数字としては、去年よりはたくさんいただいたのかとは思っているところです。

【委員】

僕が思うのは、保護者の意識です。保護者の意識として、子どもをどこかに預けるというところに対しての意見というか、やはり預けているなら回答しようという意識が薄いのが気になるという感想です。なので、その意識が、子どもたちに直接毎日会っている保護者なので、子どもに影響したりしているんじゃないかなというのを感じるところです。

【会長】

ありがとうございます。
ほかはいかがでしょう。

【副会長】

小学生の保護者のアンケート、これはまだ中身が全然検討されていないことだと思うので、もし何かあれば具体的に教えていただきたいのですが、オープンスクエアを利用してよくなかったこと、それから利用したがやめた理由で、「運営の安全管理に不安がある」という回答がどちらも200人とか300とかいらっしゃるのですが、それについては何か具体的なことというのは別にここでは把握できないわけですね。

【事務局】

今回については、その理由を聞いていないので、具体的には分かりませんが、前回のアンケートではその理由を聞いています。あがった意見としては、やはり見守りだということに不安があるというところであったり、帰宅管理をしてほしいとかがありました。

【会長】

他に何かございませんか。

なかなかクロス集計も難しいですね。代田委員から所得と留守家庭児童会室の入室との関係性というようなことの話もありましたけども。

【事務局】

去年度は学校ごとにいろいろと課題がありますということでお伝えしたと思うのですが、今回は数が少ないところがあるので、どこまで見られるかというのはあるのですが、例えば施設のところで、施設の満足度でこの学校は低いということであれば、もう少し原因が特定できるかなと思うので、そこも見えていければとは思っています。

【会長】

ありがとうございます。

ほかにございませんか。

【委員】

今日の聞き取りやこのアンケートの結果も踏まえて、将来的に中長期で改善に取り組んでいくということで、もちろんそのためのものですが、実際に今日私たちが出会ってお話を聞かせていただいた子どもたちは夏休み2日目ですので、今日上がった声も、フィードバックによってもし改善できるようなことがあれば、今通っている子どもたちの満足度とか、保護者の不安解消や満足度の向上には寄与するかなと思いました。例えば、1つの部屋の中で属性の異なる活動が同時に行われると、やはり静かに過ごしたい子もいるので、活動の内容で部屋を使い分けるとかが、もし可能であれば、今日の前で起こっている問題についても解消が利くのではないかな。さらには、ここで吸い上げたものを改善の指導という形で戻すというよりは、実際に子どもたちが感じている声を、各事業所、各放課後児童クラブ、留守家庭児童会や、オープンスクエアに参加している子どもから直接その職員さんが聞き取って、どうすればいいかを考え変えていただくというのも1つかと思いました。審議会としては中長期の計画にフィードバックしていったらいいと思うのですが、こういう聞き取りの内容とアンケート調査結果というのは、現場にフィードバックして、この夏どうしていくかについて、声をかけていただいてもいいのかなと思いました。本筋とはずれる意見なのですが、コメントだけさせていただきます。

以上です。

【会長】

ありがとうございます。

ほかにありませんでしょうか。またアンケートを見ていただき、事務局でこのところでクロス集計をやってみたら面白い結果が出るような点がありましたら、集計していただくようお願いをしたいと思います。

あと、3つアンケートがあるので例えば、児童が答えているのと親御さんが答えているのと比較など、それはクロスにはならないですが、そういったようなデータの取り方は可能でしょうか。

【事務局】

もうちょっと詳しく見る必要がありますが、子どもたちが意見を上げていることなどでは、保護者さんが求めているものと子どもが思っていることが違うなと感じるところが若干ありましたので、そこは出てくるかなと思います。

【会長】

あると思いますね。平行になってはしまいますが、そういうデータが出ればまた。

ほかはよろしゅうございますか。

ご意見がないようでしたら、アンケートについてもご確認いただけたとさせていただきます。

それでは次に、報告案件1 職員による子どもへの意見聴取について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

では「資料4 職員による子どもへの意見聴取について」を御覧ください。本日審議会の委員の皆様にも行っていただいた聞き取りと同様に、職員からも子どもへの意見聴取を行っております。留守家庭児童会室や放課後オープンスクエアの現場に職員が出向きまして、直接利用している児童に意見聴取し、状況やニーズをよりの確に把握し、計画に反映してまいります。実施時期ですが令和6年6月21日から実施をいたしております。実施校は全44小学校で実施予定をしており、19校実施済みとなっております。調査対象は留守家庭児童会室及びオープンスクエアに参加している児童から聞き取りを行い、直接話すことにより子どもの意見や思いを汲み取ってまいります。調査方法は職員、臨床心理士や保育士、放課後児童支援員等が現場を訪問し、児童への聞き取りを行います。意見聴取の内容は下記参照となっておりますが、本日審議会の委員の皆様にも聞き取りをしていただいて参考におつけさせていただきます。職員でも意見聴取をしまして、検討に反映してまいりたいと考えております。

報告案件1の説明は以上となります。

【会長】

ありがとうございます。ただいま職員による子どもへの意見聴取について説明がありましたけれども、何かこの件について御意見とか御質問はございますか。

【委員】

もう既に終わられた 19 校の実際の状況はどんな感じか、今日は騒然とした状況の中で落ち着いて意見聴取するというような雰囲気ではなかったですけれども、一緒に参加しながら何か会話の中でこっちが汲み取っていく、聞き取っていくという形だったのですが、もう既に実施されている 19 校の中で例えば、別室で何人か子どもを呼んでとか、そういうことでなく同じような感じで聞き取りをされたということですか。参考までに教えていただけたらと思います。

【事務局】

同じような行っております。特に気になる場合は別にちょっと離れることもありますが、ほとんどが本日と同じように実施しています。

【会長】

ありがとうございます。

ほかはございますか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、次の報告案件 2 夏休みにおける昼食サービスの試行実施について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

資料 5 を御覧ください。夏休みにおける昼食サービスの試行実施について説明させていただきます。経過ですが、これまで三季休業期の昼食サービスについては、留守家庭児童会室等に提供してほしいという要望が保護者から出ていました。また、議事でも説明させていただきましたが、今回のアンケートにおいてもかなりニーズが高いことが確認できました。しかしながら三季休業期の昼食サービスを導入するにあたっては、お弁当事業者の選定や注文の集約、集金方法など様々な課題を有していることから、これらの課題を解決するため、公民連携プラットフォームの仕組みを利用して事業者に提案を募集したところ、課題解決に有効な提案があったため、事業の実施方法や継続の可能性を検証することを目的に、今年度の長期休業期に昼食サービスの試行を実施するものです。なお、試行実施後は、児童と保護者へアンケートを実施し、利用状況と併せて検証を進めてまいります。

事業の内容ですが、提案者は株式会社 P E C O F R E E という会社です。こちらは九州の会社ですけれども、九州の学童施設に複数実績があります。事業の提案内容ですが、P E C O F R E E さんはお弁当の予約注文、集計、決済を行うシステム、L I N E のアプリですが、これを提供いただきます。さらにお弁当事業者の検索、マッチング、お弁当事業者への注文等をしていただきます。現在協力いただいておりますお弁当事業者につきましては 2 社ございまして、株式会社ほっかほっか亭と株式会社 B U G S O L U という会社でございます。こちらは学校によってどちらの事業者かというのが分かれておりまして、中部、南部、東部につきましてはほっかほっか亭、北部については B U G S O L U さんがお弁当を提供してということになっております。

導入経費について、こちらはアプリの導入経費、運営費等は不要というふうになっております。

利用方法ですが、利用希望者はこのアプリからメニューを確認して予約注文、留守家庭児童会室にて職員から受取り、事業終了後にアプリ内で使った分だけお金を払っていただくという形になります。1食当たりのお弁当の値段ですが、今回は550円と570円と2つありまして、これは御飯の量によって2パターンあります。

試行実施期間ですけれども、7月24日から始業式の8月26日まで実施する予定になっております。こちらは土曜日は配達はございません。

試行実施する施設の対象ですけれども、こちらを選ばせていただいたのは、まずはお弁当事業者さんが配達可能な施設の中から、あとは利用人数とかニーズの高さを考慮して各地域、ブロックから計11校を選定いたしました。対象は留守家庭児童会室の児童と放課後オープンスクエアの利用児童を対象としております。実際に試行実施する施設ですが、中部は山田、交北、山田東、南部は開成、香里、枚方第二、東部は菅原東、藤阪、北部は牧野、楠葉、船橋となっております。ここにお弁当の見本の写真がついているのですが、左がほっかほっか亭で、右がBUG SOLUさんのお弁当の見本となっております。

裏面を御覧ください。こちらはこの提供事業者さんが作成しました、案内チラシになります。こちらは学校ごとに友達登録の画面が違いますので、学校ごとにチラシを作っていただいております。なお、今回の試行実施に当たりまして、アレルギーの対応はしておりません。

説明は以上になります。

【会長】

ありがとうございます。今夏休みにおける昼食サービスの試行実施について、事務局より説明がありましたけれども、何か御質問等がありますでしょうか。どうでしょう。値段的にちょっと高いような気がしますけどね。ごはん大というのは要るかな。どうなのでしょうね。

【事務局】

登録数ですが、対象校の留守家庭児童会室では、今登録されているのが50%程度で、オープンスクエアは20%程度の登録があります。まだ初日の締切りまで時間はありますが、いまのところ各学校10個から20個ぐらいの注文という形かなというふうに思います。少ないところは一桁のところもあるのですが、そこはとても小規模で数の少ない学校です。いろいろなやり方があると思うのですが、これまで10年間ほど保護者さんの要望があった中、集金であったり注文のことでなかなか取り組めなかった中、今回こういう形を取らせていただいているのですが、値段のことであったり、お弁当の中身であったりということについては、まだまだいろいろと検討の余地があるのかなというふうにも思っています。今やはりお弁当について、三季休業期に御飯が食べられない子といった福祉的な課題ということも含めて、いろいろな形で検討する必要があるので、庁内でも今議論を交わしているところです。

【会長】

ありがとうございます。これは別に登録するから必ず取らないといけないのではないのですよね。

【事務局】

そうです。

【会長】

前日までに申し込めばいいという形ですよね。

【事務局】

はい。

【会長】

どうなるのでしょうか、留守会で何か例えばお昼に、ちょっとホットプレートで何かを焼いて皆で食べようかみたいなことしているのですかね。それはもう全然やっていないですか。

【事務局】

行事としてはやっています。全日保育のときとかもしているのですが、ただ夏は食中毒の関係で、6月から10月まではクッキングはやっていないです。

【会長】

それでお弁当で食中毒というのは大丈夫なのですか、ちょっと嫌なことを言いますが。

【事務局】

そこは管理の関係になってくると思うのですが、留守家庭児童会室は基本的にクーラーが効くような状況になっておりますので、その部屋でコンテナボックスを使い、保冷剤を入れた状態で保管するように統一させてもらっています。

【会長】

自宅で作られたお弁当でも、そうやってちゃんと管理はしてもらえるようになっているのですか。それとも何か今日見ていると、皆机の下にポンと置いているみたいな状態でしたたけどね。

【事務局】

保冷剤を入れてきてもらうようにそこはお願いしているのです。ロッカーで冷房が効いた状態で保管するか、児童会によっては配膳台のところまで集めて、そこに保管しているという2パターンなのでは。

【会長】

やはり御自宅で作られた物でも、ちょっとそのままというのは怖い部分もありますので。皆さん、何か御意見がございましたらお願いしたいと思いますが。

【委員】

これは実証実験的でモデル事業かなと思いましたので、やってみてどうだったのかという検証ももちろんけれども、1つは保護者の負担感、先ほどの御報告でいうと、子どもたちは作ってもらった弁当をすごく楽しみにしているということ、若干、これが保護者と子どもの要求のずれのところの1つの表れだなと思っていたのですが、40日近くの夏休みの毎日のお昼御飯を考えると、全国的にも放課後児童クラブでお弁当の配食が始まっているというところも少なくないので、そういう側面が1つある。

もう一点は、今御説明があったように、いわゆる社会的な課題として、学校給食が止まったらお昼御飯を食べられなくなる子どもたちということを考えると、そういう世帯が注文するかなというのは思います。あと値段も550円の食事というのを、例えばこれは10日で5,000円、20日で1万円超えちゃうお金というので、割引が利かない丸々実費なので、本当にその子どもたちの胃袋にこの550円弁当が届けばいいなと思いますが、そのあたりも試行実施後に検証していただきたいと思います。ただどの子が社会的な課題があって、どの子はないのかというのは分からないので、その辺りは実証のしようがないという側面はあるのですが、そんなことも終わった後の検証では検討したらいいかなと思いました。

素朴な疑問ですけど、お弁当は選べますか。スマホの画面でランチAと焼肉カルビ丼が選べそうな感じですけど、1事業所当たり10食でいうと、これ採算は取れるのとかを素朴に疑問に思ったので、すみません、その辺りはあくまで興味のところですけど、メニューが選べるということですよ。

【事務局】

日替わり弁当なので、1種類だけになります。

【委員】

そうなんですね、日替わりだけなのですね、分かりました。

【会長】

どうなのでしょう、550円で買っても嫌いなものばかりが入っていたとすれば食べられない、食べないというようなことが起こってきますね。そうした場合は持ち帰りをさせるのでしょうかね。どうなるのでしょうか、もうそのまま廃棄ですか。

【事務局】

廃棄ということで考えています。残食とかも含めて施設に聞き取りをしていこうとは思っているのですが。

【会長】

親御さんに対してのフィードバックといいますか、今日はどれぐらい食べましたよとか、何%ぐらい食べましたよというのは、やはり一言添えて、お弁当を注文されているところの家庭にはフィードバックしていただいたほうがいいかなとは思うのですけどね。

【事務局】

お弁当は必ず買ってきたものでも、今の児童会ではそういった意味も含めてお返しして、家で容器も処分していただくということになるのですが、残ったものをそのままずっとそこで保管しておうちに返すというのは、衛生的な問題もありますので、処分をさせていただくということで今考えています。どれぐらい残されていたかとか、その辺のところはお子さんを通じてとかも含めて、話ができるようになったらいいかなと思います。

【会長】

そうですね、子どもから直接親御さんに伝えてもらうような、例えばそういうお弁当のところ、御飯が入っていておかずがあつてこうあつたよというので、食べたところの色を塗ってお母さんに渡すとか、そういったちょっとした工夫を考えてもらえればいいかなとは思いますがね。そうすると親御さん自身もどの程度食べているのかというのは分かるでしょうし、550円というのをそれで高いと思うのか安いと思うのか、いろいろな条件があると思うので、そういうところも併せて検証をお願いできればというふうに思います。

【副会長】

これって1年生から6年生まで全部が対象で同じ内容ですか。

【事務局】

そうです、御飯の量が調整できる場所ということになります。

【副会長】

なるほどね、1年生では多い、6年生の男の子ではちょっと足りないかもしれない。なかなか値段とメニューとなると、内容と量のニーズがどのぐらいまであるかという感じです。すみません、感想です。

【会長】

ありがとうございます。そういうのも踏まえていただいて、また検証のお願いをしたいと思います。

ほか、よろしいでしょうか。

では御意見がないようでしたら、報告案件の内容について確認はいただけたということにさせていただきたいと思います。

次に、今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

【事務局】

資料6、放課後を豊かにする行動計画策定に向けたスケジュールを御覧ください。このスケジュール表につきましては、第1回目にお示しさせて頂いたスケジュールと大きく変更はございません。次回は8月21日水曜日を予定しております。案件としては現在の取組の現状と課題について、目標事業量の考え方についてなどを予定しております。場所につきましても、この第三委員会室を予定しております。

スケジュールの説明は以上となります。

【会長】

ありがとうございます。今後のスケジュールについて事務局から説明がありましたけども、御意見とか御質問等はございますか。よろしゅうございますか。

ありがとうございます。それでは御確認いただいたということで、今後進めてまいりたいというように思います。

その他、事務局で何かありますでしょうか。

【事務局】

本日は長時間にわたり、児童への意見聴取及び御審議をいただき、誠にありがとうございました。本日頂戴した意見を踏まえまして、計画策定に向けて取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の資料に関しましてその他御意見等がございましたら、期間が短く大変申し訳ございませんが、7月31日水曜日までに事務局の放課後子ども課まで御連絡いただきますようお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。

それではこれもちまして、令和6年度第2回の児童の放課後対策審議会を終了させていただきたいと思います。どうもお疲れさまでした。